

複数施設研究用

研究課題名「慢性肝疾患関連合併症に対する治療効果に関する研究」に関する情報公開

本研究は、藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2000年1月1日から2023年8月31日の間に藤田医科大学病院に通院および入院された慢性肝疾患の方

2. 研究目的・方法・研究期間

慢性肝疾患の患者さんは病気の進行とともに、食道に静脈瘤が出現したり、足がむくんだり、肝臓に腫瘍が出来ることがあります。このような肝疾患に関連する合併症が生じたときは、それらに対する治療、例を挙げますと、食道の静脈瘤に対しては胃カメラを使った治療、足のむくみには利尿剤を使った治療などを行い、対応しています。現時点におけるこれらの合併症に対する治療の効果がどの程度なのかを評価し、そこから問題点を明らかにすることで、今後より良い治療に結びつけることを目的としています。研究期間は本研究が承認されてから2026年12月31日までとなっています。

本研究は以下の医師で構成された組織で行われます。

代表者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・講師・本多隆

責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・講師・本多隆

分担者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科・病院講師・石津洋二

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・助教・今井則博

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・助教・伊藤隆徳

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・病院助教・横山晋也

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別や年齢、血液検査や画像検査の結果、病歴などの情報を用いて研究を行います。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関と共同でデータを集積して、研究を行います。名古屋大学医学部附属病院が中心となってデータの集積および解析を行います。藤田医科大学病院からのデータは匿名化された状態で提供されます。対応表は藤田医科大学病院の研究責任者が保管・管理します。

5. 将来的なデータの2次利用に関して

今後、慢性肝疾患に対する新たな治療法が開発された際に、既存治療との比較のため、本研究データを利用する可能性があります。

6. 研究資金・利益相反

本研究の研究費はMSD株式会社、アッヴィ合同会社、第一三共株式会社など寄附金によって賄われますが、特定の寄附者からの寄附金を使用するのではなく、消化器内科にプールされた寄附金から研究費として一部を使用します。そのため寄附金の提供者が本研究の計画・実施・解析に介入することはなく研究結果に影響を与えないことから、利益相反状態ではありません。

7. 研究組織

藤田医科大学医学部 消化器内科学・教授・葛谷貞二

JA愛知厚生連豊田厚生病院 内視鏡センター長兼消化器内科代表部長・都築 智之

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

機関名	藤田医科大学医学部消化器内科学
研究責任者	教授 葛谷貞二
住所	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98
直通電話番号	0562-93-2324

【研究代表機関】

機関名 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科

担当者 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科 病院講師 石津洋二

住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号 052-744-2169

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科 講師 本多隆